

【動物実験委員会議事録】

日 時 平成24年 5月23日(水) 16:30~17:50

場 所 小倉北区キャンパス2号館408会議室

出席者 副学長 山田 千秋  
学部長 青柳 東彦(食物栄養学部) 橋元 隆(リハビリテーション学部)  
学科長 (議長) 藤野 博史(食物栄養学部) 小川 洋子(短大 食物栄養学科)  
実験に携わる研究者 喜多 大三(食物栄養学部) 大澤 得二(食物栄養学部)  
中岡 寛(短大 食物栄養学科)  
人文系教員 吉田 正史(食物栄養学部)  
事務担当 日隈 功二(庶務課長)

- (議題) 1. 平成23年下期(24年1月実施)の動物実験完了報告について  
2. 改正後(24年4月改正施行)の本学規程の内容確認と徹底について  
3. 平成24年度実施予定の動物実験申請(計画)の内容審査について

1. 平成23年下期(平成24年1月実施)の九州栄養福祉大学食物栄養学部1年生「ラットの解剖実習」について実験実施者である大澤得二教授より「動物実験完了報告書」を基に実験の内容および処置等について説明をうけ、先に提出されていた当該「動物実験申請書(兼計画書)」との整合性を検証した結果本実験は計画通り実施され処置方法等についても問題がない事を確認し承認された。
2. 事務局より昨年の委員会にて取り組むこととされた本学規程「九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学動物実験指針」「九州栄養福祉大学・東筑紫短期大学動物実験委員会規程」の改正について本委員会では取り纏めた改正案の通り主に学長の責務を明記すると共に基本指針の趣旨に沿った改正を行った事および各教授会での報告と起案を経て正式に改正規程が制定された事が報告され、今後改正規程を遵守した運用がなされるよう徹底する旨の確認がなされた。
3. 平成24年度実施予定の動物実験申請(計画)2件が提出され審査が行われた。
  - (1) 申請者 中岡 寛 「東筑紫短期大学食物栄養学科 ラットの解剖実習」前期実施
  - (2) 申請者 大澤得二 「九州栄養福祉大学食物栄養学部 ラットの解剖実習」後期実施前述2件の動物実験申請書(兼計画書)の提出を受け、実験の内容及び処置方法等について各々の申請者よりの説明を求め実験の必要性、実験内容についての審査を実施した結果、申請された2件の動物実験は妥当であり計画通りの実施を容認する事が確認され学長に答申することとされた。

以上

【動物実験委員会議事録】

日 時 平成25年 2月13日(水) 16:15~17:45

場 所 小倉北区キャンパス2号館408会議室

出席者 副学長 山田 千秋

学部長 青柳 東彦(食物栄養学部) 橋元 隆(リハビリテーション学部)

学科長 (議長) 藤野 博史(食物栄養学部) 小川 洋子(短大 食物栄養学科)

実験に携わる研究者 喜多 大三(食物栄養学部) 大澤 得二(食物栄養学部)

中岡 寛 (短大 食物栄養学科)

人文系教員 吉田 正史(食物栄養学部)

事務担当 日隈 功二(庶務課長)

- (議題) 1. 平成24年度実施された動物実験結果報告と内容審議  
2. 平成24年度の反省点及び次年度の年間予定について

1. 平成24年度に実施された動物実験について動物実験申請者の中岡 寛教授(東筑紫短期大学)および大澤得二教授(九州栄養福祉大学)から提出された「動物実験結果報告書」に基づき実施された動物実験が当初申請され承認された内容と照らし問題はないかの審議が行われた。申請者それぞれから実験内容の報告をうけ委員会としては申請どおり実施されたことを確認し学長へ報告することとした。
2. 昨年度整備を行った動物実験についての情報公開、教育訓練等について運用面での問題点等について委員長より発言があり今後の検討課題として反省と提案がなされた。情報公開についてはホームページへの掲載はなされているが、規定や書式についてはまだ古いものが掲載されており、本年度より改訂された規定への更新を行う必要がある。また自己点検評価の掲載等は実現しておらず併せて検討すべき課題として提起された。年間の活動スケジュール、教育訓練等については次年度期初の委員会において決定することが確認された。

以上